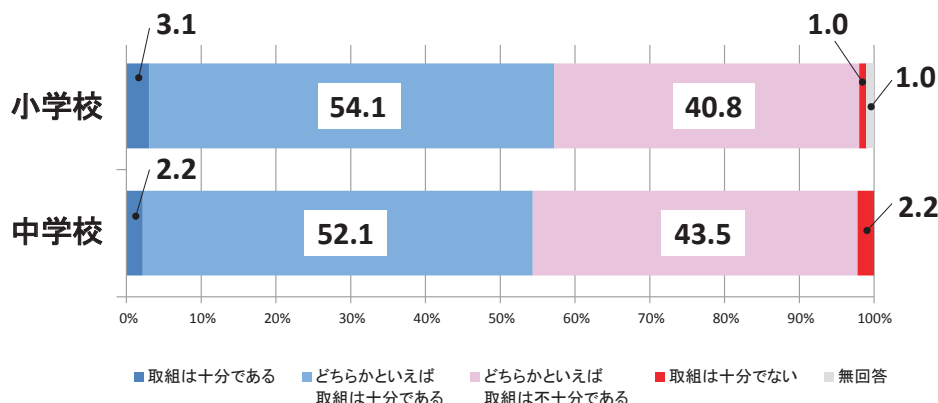


9 東京都における環境教育の課題

東京都教育委員会では、平成30年9月に全ての区市立幼稚園・こども園及び都内公立小・中学校（抽出）を対象に、「環境教育の現状と課題を把握するための調査」を実施しました。この結果から、小・中学校における次のような現状及び課題が明らかになりました。

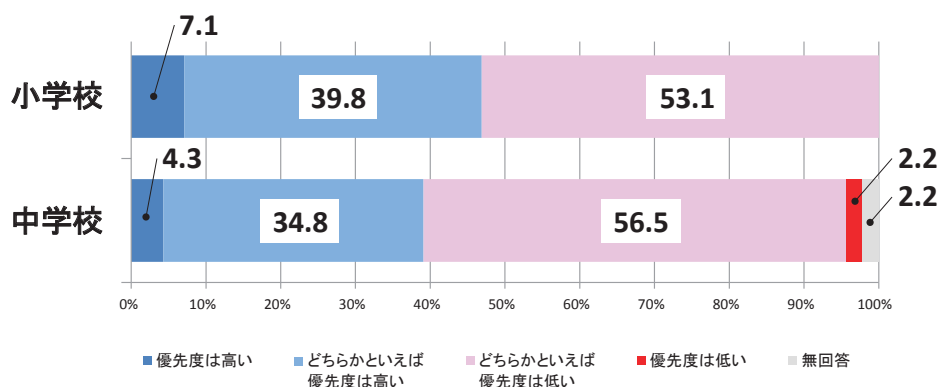
（いずれも学校の管理職による回答）

（1）環境教育の取組状況



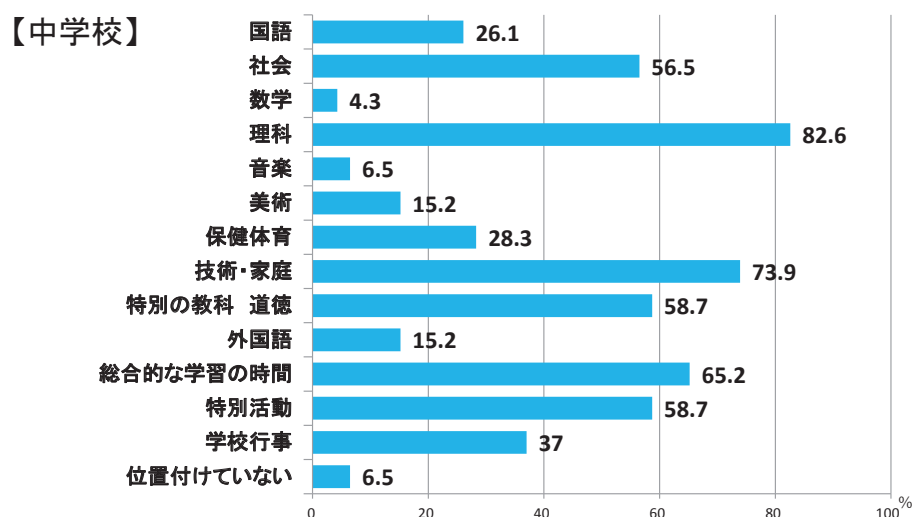
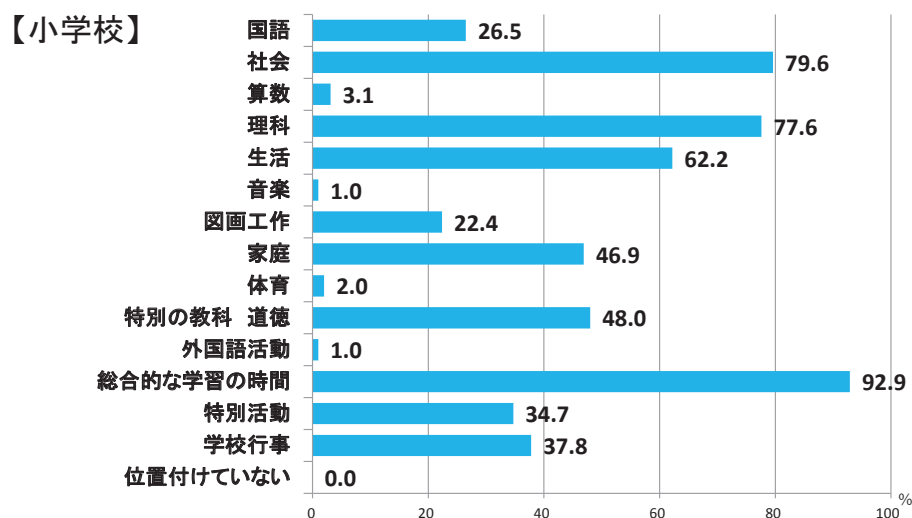
「十分」、「どちらかといえば十分」と捉えている割合は、小学校が57.2%、中学校が54.4%であり、半数近くは十分でないと捉えている。

（2）環境教育の優先度



小・中学校においては、環境教育の優先度が「高い」、「どちらかといえば高い」と捉えている割合は、半数に満たない。

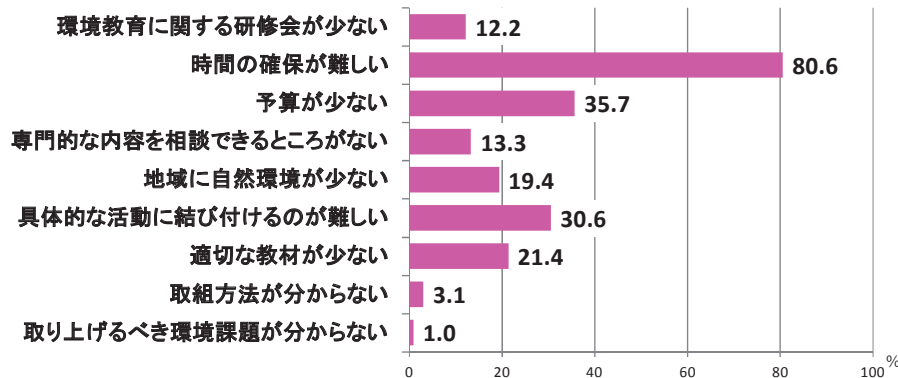
(3) 教育課程における環境教育の位置付け（複数回答）



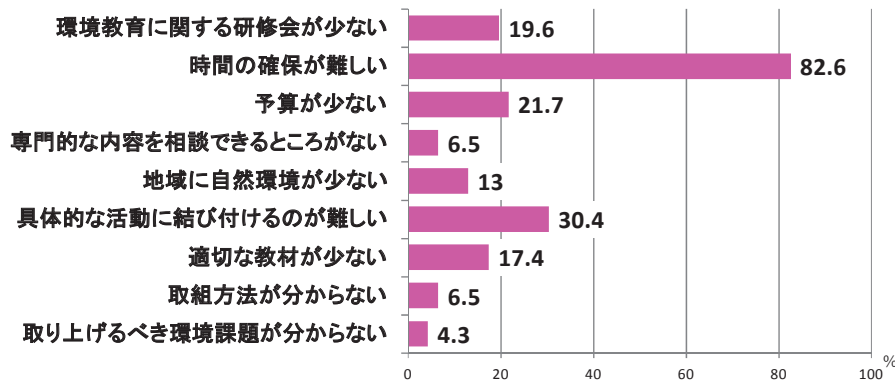
小学校では、総合的な学習の時間が最も多く、社会、理科、生活と続いている。中学校では、理科が最も多く、技術・家庭、総合的な学習の時間、特別の教科 道徳、特別活動と続いている。理科、社会、技術・家庭、特別の教科 道徳などは、学習指導要領で示されている内容の中に、環境教育と関わりが深いものが多く含まれており、関連の深い各教科等において、教科等横断的な視点から適切に環境教育を位置付けることが重要である。

(4) 環境教育を実施する上での問題点 (複数回答)

【小学校】



【中学校】



小・中学校ともに、80%以上が「時間の確保が難しい」と捉えており、続いて「予算」、「具体的な活動に結び付けること」が上位に挙がっている。

以上の結果から、東京都における環境教育の課題として次の2点が挙げられます。

東京都における環境教育の課題

- ① 限られた時間や予算の中で、いかに環境教育を充実させるか。
- ② 環境教育の学びを、いかに子供の行動変容につなげていくか。

これらの課題解決に向けて、本指導資料では第1章及び第2章を次のような視点でまとめています。

課題解決に向けた本指導資料作成の視点

- ① カリキュラム・マネジメントを通して、教科等横断的な視点から環境教育の内容を組み立て、教育課程を編成していくこと。
- ② 環境教育を通して育成する資質・能力を意識した意図的、計画的な指導を行っていくこと。